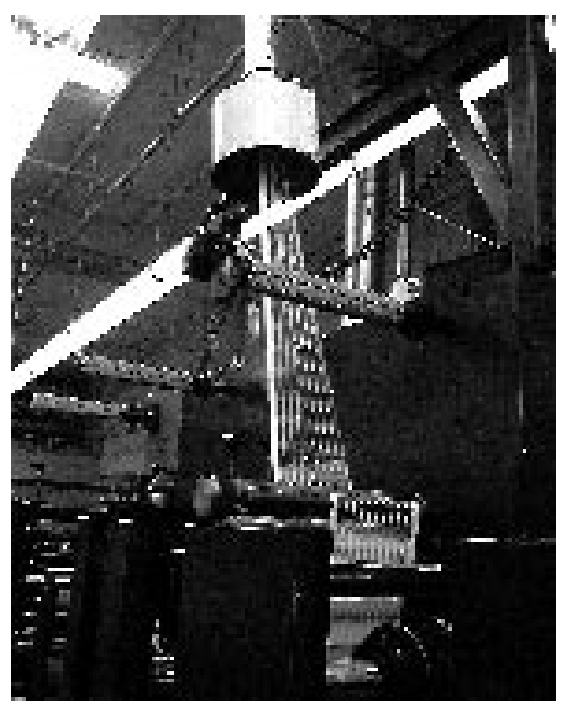


新たな展開に挑戦する ラベル資機材メーカー特集

(株)イソワ・フーパーソフト

(愛知県春日井市)



AIR TRIM社製「マトリックスツイスター」は、抜きカスを自動で廃棄スペースまで搬送する

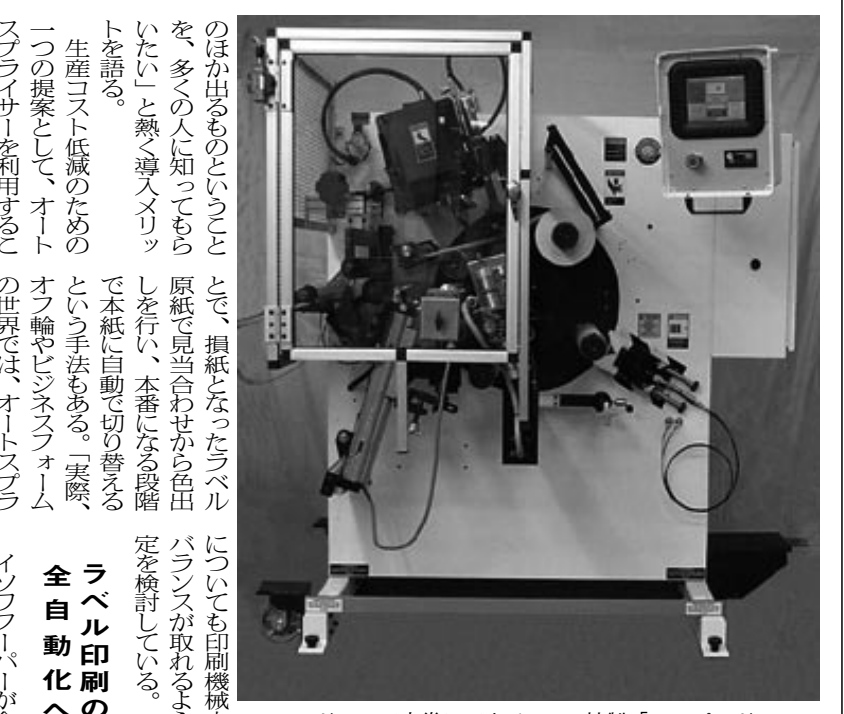
国内の大手ラベル印刷会社では、スプレッドシートやノックアウトマシンなどを複数導入している企業もある。その採用理由としては、生産性が向上するから、というものが挙げられるが、生産コストが計算しやすく、従来比べ「目に見えぬ」コスト削減が実現できるから、というメリットも大きい。

ラベル以外の長い機械取替は、「他の印刷業界は、ラベルと比べ価格も激しく目に見えない形で低減している」とも、利便性は高い。

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

受ける。これにより、導入コストも導入後のトラブルへの対応においても、十分な採用メリットが出てくる。



エンドレスで小巻にできるCTC社製「4スピンドルターレットリワインダー」

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

日本のラベル業界へ 国産省力機をライナーアップ



機輪高志取締役

機輪高志取締役



損紙軽減を実現するCTC社製「オートマチックパットスライサー」

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

ラベル印刷の自動化は、オートスライサーや、オートマチックパットスライサーなど、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ

機輪高志取締役は、愛知県春日井市西區、機輪保之社長、56歳。33年、60歳は、国内唯一、印刷機や包装機械向けの取り付用スライサーを専門に展開している企業。総段ボールメーカーとして世界展開しているISOWAを親会社に持つ同社は、その100%子会社として1972年に創業した。以降、海外のリーディングカンパニーの技術提携により、オフセット印刷機の給紙を自動化する大型スライサーを専門に製造販売し、近年は、ビジネスフォームや厚紙分野にも視野を広げている。今年からは、ラベル印刷機用の小型オートスライサーにも着手。国内設計、製造する強みを最大限に発揮し、顧客ニーズに柔軟に対応し、メンテナンスもできるスライサーメーカーとして、積極展開を開始した。

実績ある大型スライサー
これまでイソワ・フーパーソフトは、オフセット印刷機印刷用スライサーを中心に、テンションコントロール装置や二重印刷向けの各種周辺機器を製造販売してきた。スライサーに関しては、パットスライサー(本社・米国)と技術提携して双方の技術を集結し、さまざまな自動紙巻機を開発。国内で製造している。現在、イソワ・フーパーソフトは、2腕全回転式スライサーを、現在、イソワ・フーパーソフトが独自システムを採用。セミオートローディング機構、スライサー、テープ位置のオートセッティング機構や自動紙通し装置を持ち、最大紙直径1270mm

損紙、ヤレの低減を実現
生産効率の高いスライサー
機輪高志取締役は、愛知県春日井市西區、機輪保之社長、56歳。33年、60歳は、国内唯一、印刷機や包装機械向けの取り付用スライサーを専門に展開している企業。総段ボールメーカーとして世界展開しているISOWAを親会社に持つ同社は、その100%子会社として1972年に創業した。以降、海外のリーディングカンパニーの技術提携により、オフセット印刷機の給紙を自動化する大型スライサーを専門に製造販売し、近年は、ビジネスフォームや厚紙分野にも視野を広げている。今年からは、ラベル印刷機用の小型オートスライサーにも着手。国内設計、製造する強みを最大限に発揮し、顧客ニーズに柔軟に対応し、メンテナンスもできるスライサーメーカーとして、積極展開を開始した。

ラベル業界への参入
イソワ・フーパーソフトは、ラベル業界に対して展開しているのは、スプレッドシートやノックアウトマシンに比べて、ラベル業界は、まだ、国内メーカーは、少ない。希望販売価格も、バキュームタイプ



世界展開している総段ボールメーカー「ISOWA」の本社工場。イソワ・フーパーソフトの本社工場も同居する

エンドレス感覚で損紙を軽減 小巻の有効利用を提案します。使用しない小巻も損紙です。

株式会社 イソワ・フーパーソフト

本社 愛知県春日井市西區南6-8番地 TEL(0568)33-6010 T498-0808
東京 東京都北区東十条三丁目13番4号 TEL(03)3827-1026 T114-0001
http://www.isowa-h.co.jp/